

投稿年月日	平成 29 年 3 月 14 日	投稿者	市内在住 20 代 女性
ご意見・ご提案 内 容	<p>今、日本のどこでも地震が起きてもおかしくないと言われ、島原半島は活断層が多数あり、30年以内に活断層が動く可能性が極めて高いという資料を見て一気に怖くなりました。縦ずれ断層の津波も発生し数分以内に街にやってくる。世間では南海トラフ巨大地震に備えて避難訓練等を地域、学校で行われています。それに比べてこちらは呑気すぎませんか？活断層があるのを知らない人が多いのでは？</p> <p>まず、最新の情報を市の情報誌等に掲載し、危機感を持って欲しい。</p> <p>自宅に備蓄品を置いていても倒壊や外出先で被災しては意味がありません。</p> <p>子供達は日中のほとんどを保育園、学校で過ごします。</p> <p>そこで思うのは、火事の避難訓練だけでなく、津波がくることを子供にも絶対叩きこみ、学校で具体的な避難の仕方、高台避難の場所を検討し実施したり、スクールバスの運転手も参加して知ってもらうべき。バスに乗っていたって間に合わないこともある。すぐにバスから生徒を下ろして避難させ、可能ならバスで安全な高台へ避難する等の判断を備えて欲しいです。大人が知っておかないと守れません。四国から東海地方辺りは、バスに乗っている時を想定して津波訓練行っています。東日本大震災の時、職員や大人の間違った判断で、小学生、幼稚園児がバスごと津波に飲まれました。とても悔しいと思います。</p> <p>また、学校で被災した時の為に、着替え、防災用食料、水、季節に合わせた物など、これぐらいの最低限のものを入れた避難バッグを学校で保管して欲しいです。これもニュースで他の地域がやっていて、良いなと思いました。起きてからでは意味がないと思います。私は、幼稚園児の娘に、「ここにも大きな地震、津波がいつくるかわからない！揺れたら窓や棚から離れて頭を守る。海の近くだったらまず高いところへ逃げる。」と叩きこんでます。</p> <p>誰もがネットを開いて地震予測を見るわけではありません。もうちょっと危機感をあおるべきだと思います。大事な子供達の為に、できることはやりたいです。各保育園の先生方にも資料を配る等し、高台避難の場所を検討してもらおう等、保護者が安心できるようにしていただきたいです。</p> <p>これを読んで何かを感じていただけたらと思います。何も変わらなければ、そういった活動をするよう、署名などしようと思っています。これだけ危険な島原半島。あまりにも災害対策に無頓着すぎると感じています。</p>		
回 答	<p>【総務課】</p> <p>東海・東南海・南海（三連動地震）連動による地震につきましては、長崎県が実施した長崎県地震等防災アセスメント調査報告書(平成18年3月)</p>		

	<p>によると、島原半島への影響は最大で 20 センチ程度の津波が予測されています。</p> <p>市といたしましては、地域の特性から起こり得る災害として、土砂災害、火災、雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落を想定した避難訓練を兼ねた防災訓練を近年実施し、来年度の防災訓練につきましては地震、津波、土砂災害の複合災害を想定した訓練を現在検討しているところです。</p> <p>市主催で実施している防災訓練の他、自治会や施設、学校など、自主防災活動にて各地域の危険箇所や起こり得る災害を想定した訓練や講習会などには、市担当及び消防団員等が協力して実施されております。</p> <p>また、平成 28 年度は防災に関する講習会を長崎県防災士会と協働で、市内 3 カ所にて地域における危険箇所から身を守る、防災・減災に関する研修会も地域の方々に参加を呼びかけ実施しました。加津佐・口之津地区においては 11 月 10 日に加津佐保健センターにて開催しております。</p> <p>おっしゃるとおり、災害から身を守る行動については先ず家庭、学校や地域等により身につくものと考えております。これからもお子様へのご指導と併せ、地域などで開催される自主防災活動にもご参加いただけると幸いです。貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>【学校教育課】</p> <p>南島原市内の小・中学校では、全ての学校において地震に対する避難訓練を実施しています。学校のある位置や地形等を考慮し、津波を想定した高台への避難訓練を行っている学校もあります。現時点では、学校において備蓄、避難バックの保管は行っていませんが、飲料水等の備蓄については、市総務課災害交通班が準備を進めているところです。また、スクールバスの運転手に対しても避難方法や防災に関する教育・指導を行ってまいります。</p> <p>【こども未来課】</p> <p>保育所等におきましては、自力避難が困難である乳幼児等が多く利用していることから、児童の安全確保のため、毎月の避難訓練等の実施が義務付けられており、各施設において訓練が実施されております。非常災害対策は喫緊の課題であり、毎月開催されております保育会定例会において、今後も周知・指導を行ってまいります。</p>
担当課	総務課・学校教育課・こども未来課